

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	小児看護学実習の特別支援学校実習における学生の学び
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者：2024 年度新潟大学医学部保健学科看護学専攻 小児看護学履修者 81 名	
対象期間：倫理審査承認後～オプトアウト公開後 2 週間	
③概要	
<p>医療の進展により、健康障害をもつ子どもが病院から地域生活を送る割合が増加しています。今後の日本の医療体制構築のために、多様な地域の場での看護実践力を身に着けることや、卒業後も多様な場において、多職種と連携して適切な保健・医療・福祉を提供する看護職の育成が期待されています。病棟実習以外の施設での実習の場では、看護学生は、子どもへの理解が深まる点、小児看護が多方面の分野に拡大している点、地域との連携など多面的な学修につながる点が報告されています。しかし、特別支援学校での実習報告は少ない現状です。本学では 2024 年度より特別支援学校での実習を開始しました。基礎教育の時点で、医療と福祉、教育の場で看護学生がどのような学びを得たのか、子どもが育つ多様な場の理解と看護職の役割についてどのように考えたのか、明らかにすることが重要と考えました。</p> <p>本研究の目的は、小児看護学実習の特別支援学校実習における学生の学びを明らかにすることです。</p> <p>この研究は、これまでの特別支援学校実習における学修の学びに関する記録を用いて行う研究です。特に学生の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。オプトアウト公開後、2 週間を拒否意思の表明期間としています。学生の皆さんには、この間に研究参加の有無を自由に決めていただけます。</p>	
<p>参加を希望されない場合は、①若しくは②の方法でお知らせください。</p> <p>①メールで学籍番号を研究責任者にお知らせください</p> <p>田中までメールをお送りください mio@clg.niigata-u.ac.jp</p> <p>②右の google フォーム経由で学籍番号をお知らせください</p> 	
<p>研究参加を断っても、当該科目の成績評価は終了しておりますので、成績には一切影響しません。また、その後の学業、生活上の不利益や支障は一切生じません。オプトアウトの拒否期間終了 2 日前に、リマインドメールをお送りしますので、再度の確認をいただけます。</p>	
④申請番号	2025-0228

⑤研究の目的・意義	本研究の目的は、小児看護学実習の特別支援学校実習における学生の学びを明らかにすることです。研究の成果により、多様な場での実習の教育の質保証や課題解決に向けての示唆を得ることができます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から～2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	小児看護学実習での、特別支援学校での学びの記述や自己評価の数値を分析します。個人情報匿名化済みのデータとして、新潟大学大学医学部保健学科で分析を行います。
⑧利用または提供する情報の項目	学務情報システムより、以下の内容をデータとします。①特別支援学校の学びに関する自己評価 ②特別支援学校の教員と子どもの関わりに関する学び ③学校看護師へのインタビュー内容 ④学校における看護職の役割の考察。
⑨利用する者の範囲	新潟大学 医学部保健学科看護学専攻小児看護学領域
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 医学部保健学科看護学専攻小児看護学 准教授 田中美央
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院保健学研究科 氏名：田中美央 Tel：025-227-2367 E-mail：mio@clg.niigata-u.ac.jp